

〈編集・発行〉関西合唱団内 全国合唱団合同事務局 TEL06-6962-5482 FAX06-6969-1261

責任者 北林亜弓 TEL090-1447-0451

9月30日(月)の池辺晋一郎先生による合同練習会には大阪、兵庫、奈良、京都をはじめ福井、福岡からも参加者があり、総勢280名のみなさんで祭典にむけた熱い練習が行われました。

池辺先生から歌い方の指示が出されましたので、これからの練習に周知徹底をお願いします。

なお、出演登録がお済みでない方は出来るだけ早く(最終14日までに)お願いします。

「人間の歌」無意識に強くなったり弱くなったりせず、どう歌うか意識を持ってうたいます。

♪ 2小節から11小節のmpは絶対強くしない冷静に。山ノ木さんの詩を諄々(じゅんじゅん)と説くように、静かにうなずきながら歌う感じで。同じ弱さで強ならないよう我慢する。10小節からの「ひとはいるか」はしゃべる。

♪ 11小節のいきる～からは思い切って起伏をつける。「いきるかなしきつばさにかえて ひとのよろこび
うたにたくして わたしはうたうきぼうのうた ともにうたおう にんげんのうた」※2番の後半も同じ

- ・—はアクセントテヌートをつける。
- ・うたはfで、その前に息をのむ感じで、うたにつなげない。(のうた にならない) ※他のところも
- ・にんげんのうたはffで。

♪ 2番の前半 男声のメロディは女声に引っ張られないで語る。女声のオブリガードはやわらかく、うんと起伏をつくる。まず2小節でクレッシェンドとデクレッシェンド。次は4小節でクレッシェンドとデクレッシェンド。最後に3小節でクレッシェンドとデクレッシェンド。語り(男声)と歌う(女声)を対比させる。

♪ 3番「ひとほえみ～」pでテンポも少し抑える。ここからが思いの中核で、起伏の出ないようにしっかり語りたい。

- ・「あるいてゆきたい にんげんらしく」しは無声音きつくなならない。らしくのくはしっかり伸ばす。
- ・「いきていきていきぬいて」からはmfで歌う。うたのをそろえる。「いきていきていきとおして」
- ・「じんせいのうた」じんせいをはっきりそろえる。
- ・最後のfffではまわりの音を聴く。バランスを考える。



「聴く力」

♪ 「人の心のこすい」mfでそれより強くなならない。こにやわらかいアクセントをつける。

♪ ① 「とりのこえに」からmp「ひとりみみそばだてる」からp。pは言葉を前に出す。テンションは高く緊張感が続く。

♪ ② 「ことりのかいわが」女声mfからクレッシェンド、「わかったせいで」がf、「ふるい」からmpで。「じゅもく」のじゅの音注意、zyuとはっきり言う。「きれいなむすめの」からmf。きれいはx。

♪ ③ 「なおした民話」からf。「そのすえは」pからずっとクレッシェンドして④「したばかり」がfになるようもっていく。「そのすえは」からは少し歌う。表情が変わる。

♪ 「どうあつとうしてやろうか」はff。あつとうに堅いアクセントをつける。「だがどうして」pp。「たのものを」はmpで堅いアクセント。「じつと」がpp。「うけとめるちからが」はmp。「なければ」はmfで終わる。意識をして変える。

「風を返して 土を返して」 遅く重くならず、前へ明るく軽く。

- ♪ 72小節からの「かぜをかえしてください～」の繰り返しは1～3回は全員メロディを歌う。4回5回はメロディをソプラノとテノール、対旋律をアルトとバスが歌う。92小節からの「かぜをかえしてください～」は3回繰り返し返すが、全てメロディをソプラノとテノール、対旋律をアルトとバスが歌う。
- ♪ 歌い始めはmf、フレーズを大きく取って歌う。15小節の「みなみそうましの」からdolce、やわらかいpで。「すきだーった」のような「っ」は音程がおりてから入れる。「だあーた」のようにつながらない。同じような歌詞づけが、何カ所か出てくるので注意。
- ♪ ②アルトの「あなたをいつも～」は言葉をはっきりと堅めに歌う。ソプラノのオブリガードはつなげて、2小節でクレッシェンドとデクレッシェンド(25から28小節)。③1小節からの「あなたをいつも～」軽く抜いて歌う。38小節からの「つよく」はデクレッシェンド「あなた大切な」pで本当に大切なと言う思いでしめくくる。
- ♪ ③からはリズム、言葉をたてて、しかし51小節の「このちきゅうよりより～」はレガートでいねいに。
- ♪ ④音楽が変わる。2分の2で振り子が変わる感じ。81小節「かぜをかえして～」から集中して少しテンポアップ。追い詰めていく感じで。
- ♪ ⑤101小節「ララ…」解放されて上へ上へ。(上を向いて歌ってほしいぐらい) 107小節のHumは弱くならない。

「わたしの育てた稲」

- ♪ A出だしは重く遅く演歌にならない。「いっせいに」ははずむようにフレージングが変わるのを意識する。「せのびして～」も軽く。
- ♪ B「わたしのたも」「みんなのたと」のリズムと「ならんでいる」のリズムの違いを意識して歌う。
- ♪ C doice やさしく 「わたしのいねは」目の前の景色を感じて。「ほっそりと」振り子が止まるつもりで。
- ♪ D 「はいきゅういじょうのしょくもつが あたえられなかったのだ」詩人の怒りがある。
- ♪ E 「じっとして」でとまる。
- ♪ F 「つよいいねたちにまじって」かちっと歌う。「やせたからだを～」doice やさしく「ささえている」pのまま、緊張して。男声「ささえている」クレッシェンドでふくらませて「ほそいくびに」がmpになる。「ちから」ははっきり発音、「あおむいて」言葉ははっきり。

65周年日本のうたごえ祭典・おおさか 大音楽会 ゲネプロ・当日練習スケジュール (11/2)

記念作品・人間の歌

11:38 ~12:12…舞台ゲネプロ

13:05~14:10…練習・城見ホール

ナブッコ・フィンランディア

15:40~16:00…舞台ゲネプロ

14:10~14:40…練習・城見ホール



本番の衣装

女性…長袖白ブラウス・黒ロングスカートまたは黒パンツ・黒パンプス

男声…黒スーツ・白カッターシャツ・黒蝶ネクタイ・黒靴